

町田市長 石阪丈一様

2011年6月20日
日本共産党町田市議団

放射線測定に関する申し入れ

日本共産党町田市議団は、3月23日におこなった市長に対する申し入れの中で「放射線測定施設及び、放射線測定器を設置すること」を求めました。その後、原発事故にともなう放射性物質の飛散による不安の声が寄せられています。

「新宿のモニタリングポストの値だけでなく、町田市内でも放射線測定をしてほしい」「町田市はどうなのだろうと不安が大きい」という市民の願いにこたえ、東京都が実施する調査にとどまらず、町田市として専門家や専門機関の力を借りることも含めて、放射線測定を継続的に実施することを申し入れるものです。

また、日本共産党町田市議団は、6月10日と11日の両日、専門家の協力を得て、市内13カ所の放射線量の測定をおこないました。その結果は、別紙の通りです。

記

- 一、 東京都がおこなう調査以外に、町田市として放射線測定器を購入し、専門家や専門機関の力を借りることも含めて、放射線測定を継続的に実施し、公表すること。特に、小・中学校、幼稚園、保育園、公園などで放射線測定をおこなうこと。
- 二、 成瀬、鶴見川クリーンセンターの下水処理施設における放射線（能）測定をおこなうこと。
- 三、 保育園、学校給食食材の生産地を公表すること。
- 四、 東京都に対して、多摩地域で継続的に放射線測定ができるモニタリングポストを設置するよう働きかけること。
- 五、 町田市がおこなった放射線測定の結果はホームページだけでなく、「広報まちだ」への掲載をおこなうこと。

以 上